

阿呆
寺

変態小人球 紐刀エキ



俺は竹田たつみ
ある魔法使いに
小さくなる魔法を
もらった

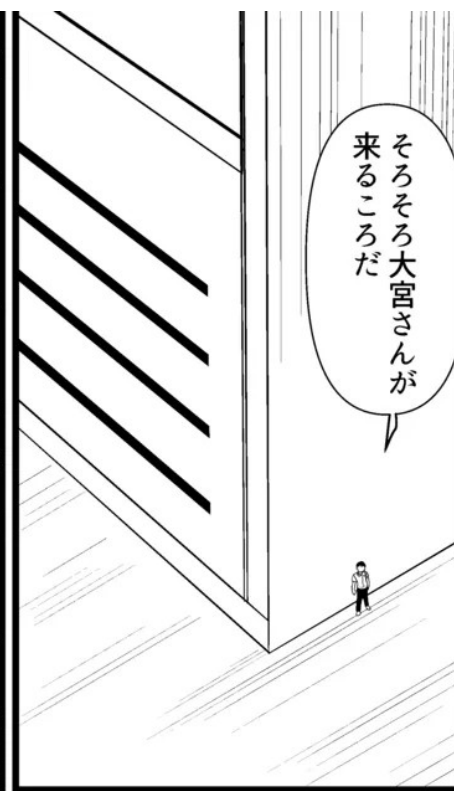
MR. Pepp

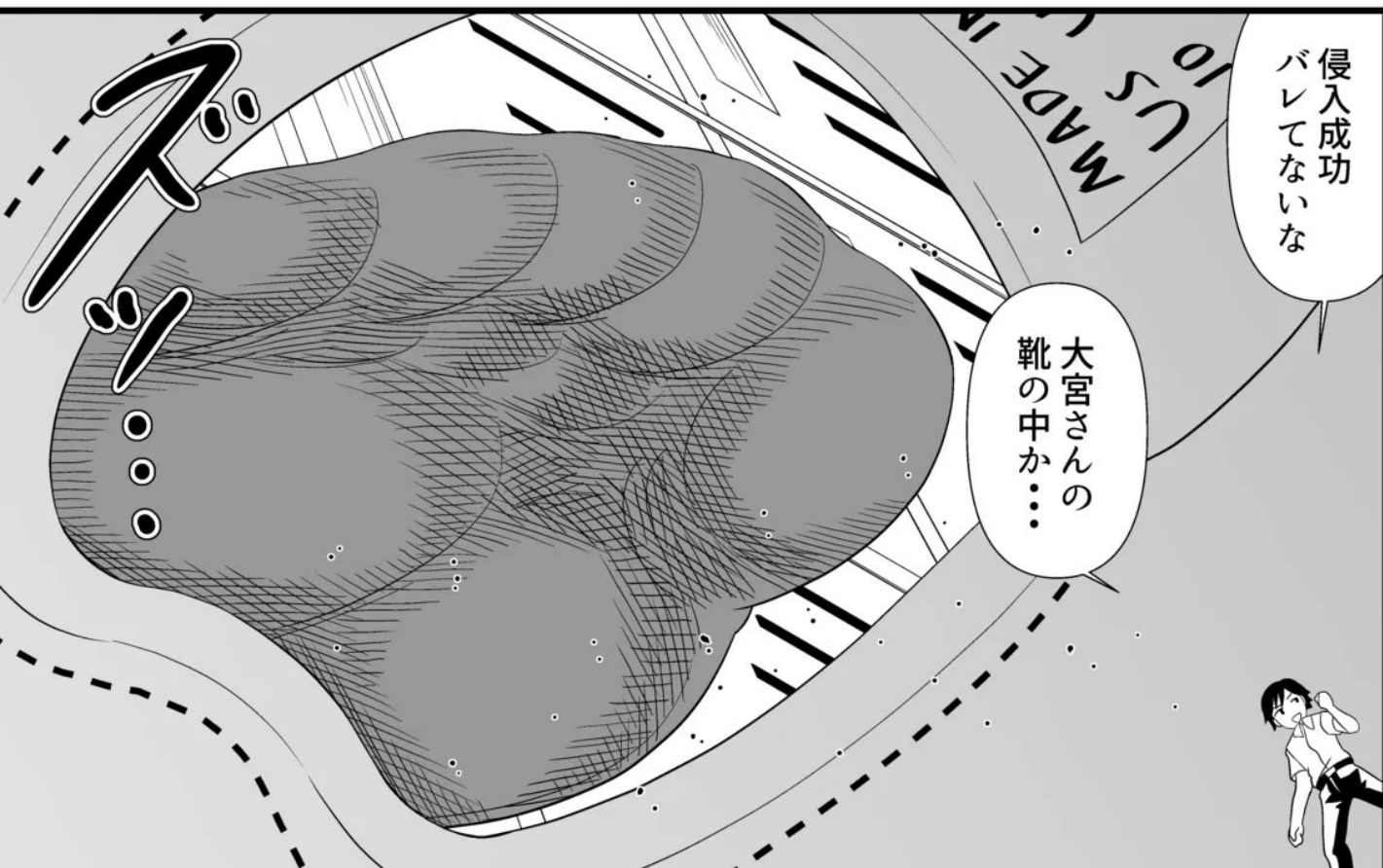
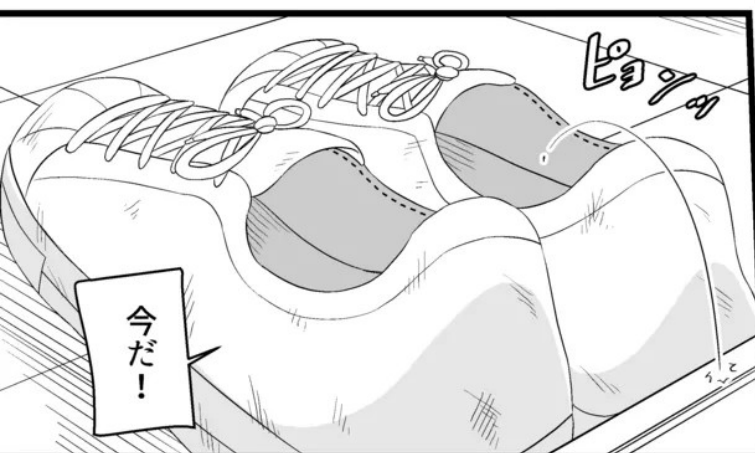
その魔法で
クラスの女の子の
パンツをのぞいたり
足の匂いを嗅いだりしてる

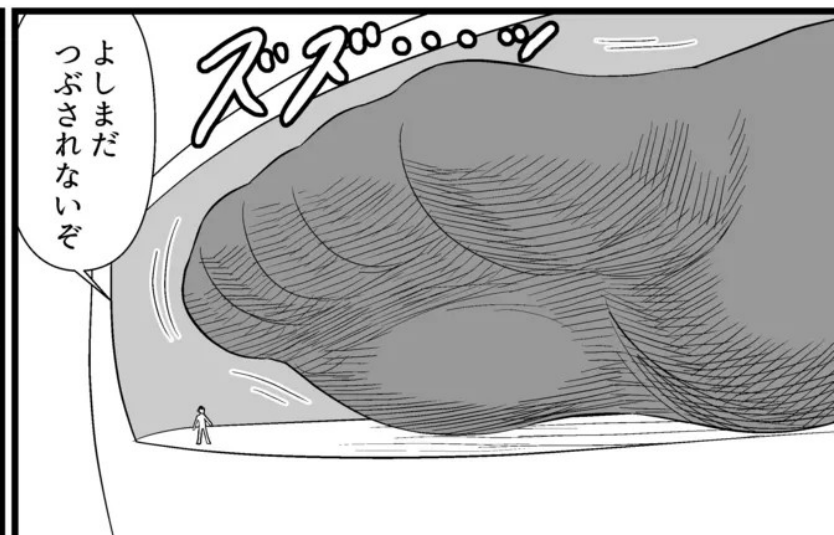
今日はあの子だ
最近気になってる子

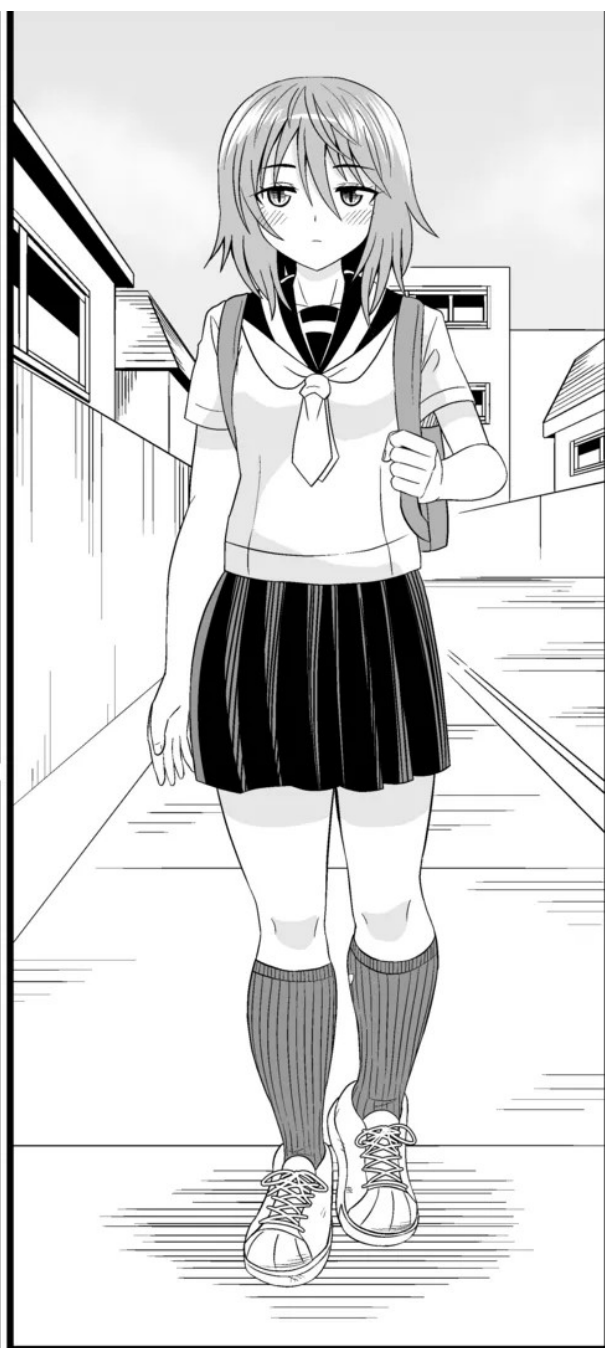
大宮牡丹さん
クラスではあまり
目立たないいつも
読書をしている
女の子

地味だけど
けだるげで
かわいい子だ









大宮さんの靴…
ちよつと汗くさい



俺は今
大宮さんの靴の中に
いるんだな



全裸になろう
今俺はダニなんだ
身長2mmの
ダニだ!



足からも汗の匂いが
する…



そしてそんな大宮さんの
靴の中にある俺は
なんてはじめなんだろう

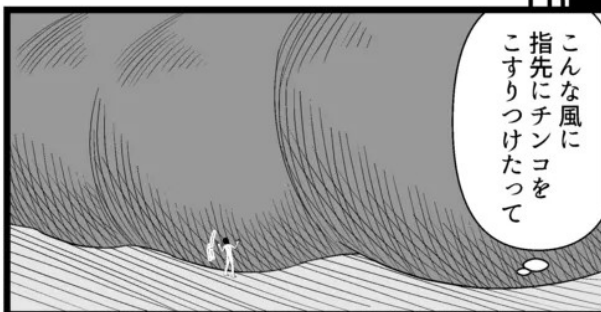
大宮さんにとって
今の俺なんか
ゴミみたいな存在だ



靴もちょっと
汚れてたし
かわいい子だから
しっかり洗ってるのかと
思ったら意外に
ずぼらなのかな



なんか余計かわいく
感じてきた
かわいい子が
ちよつとだらしないとか
いいよな



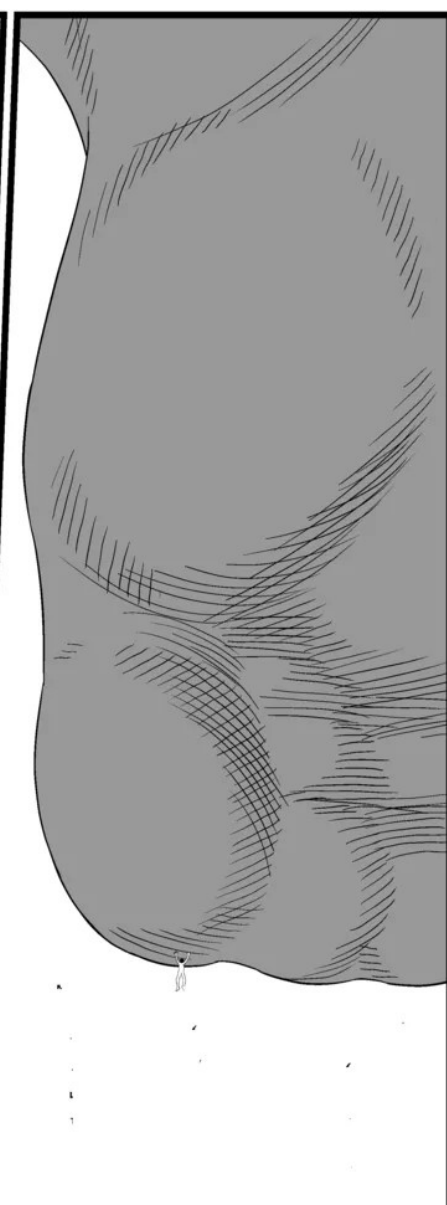
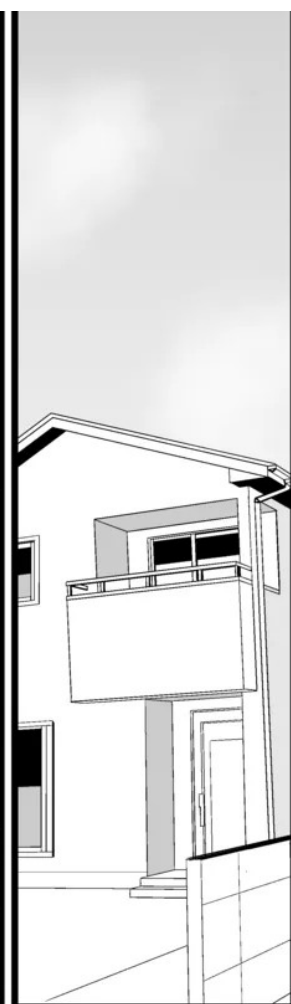
こんな風に
指先にチンコを
こすりつけたって



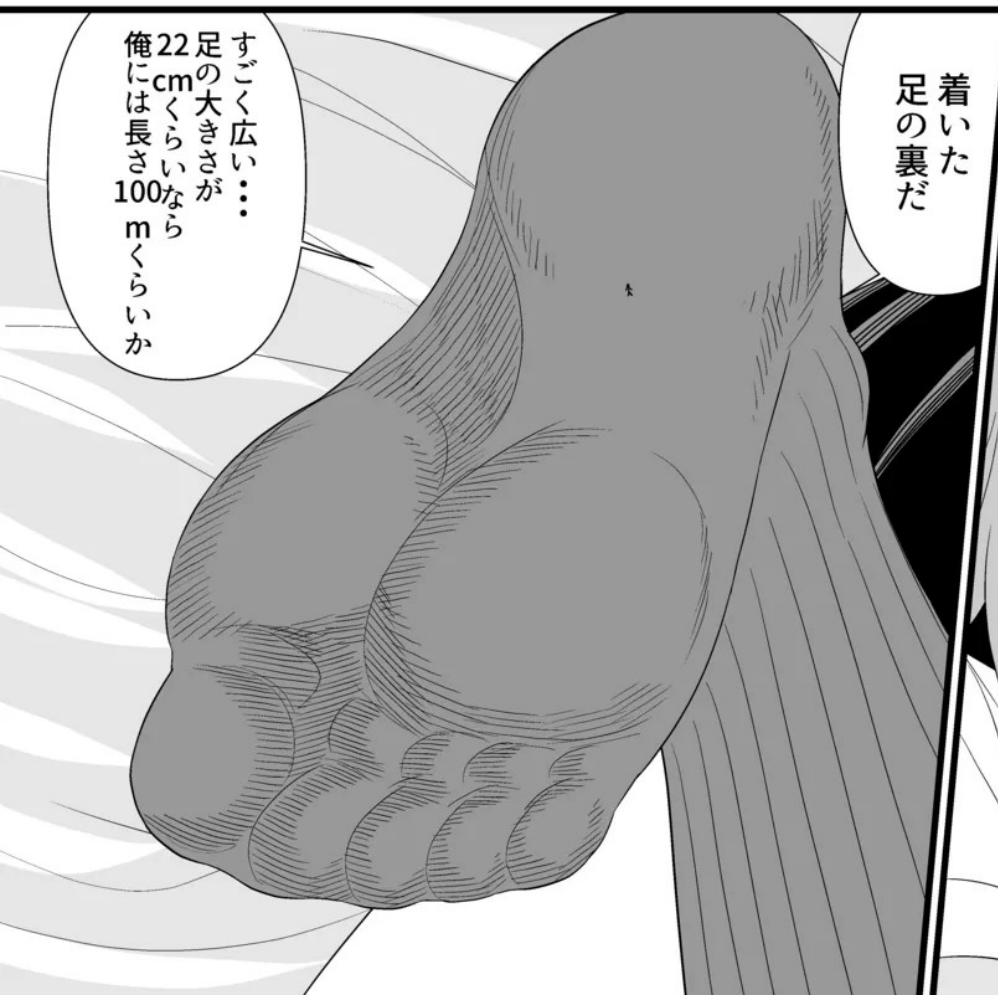
大宮さんは
気づくことは
ないだろう

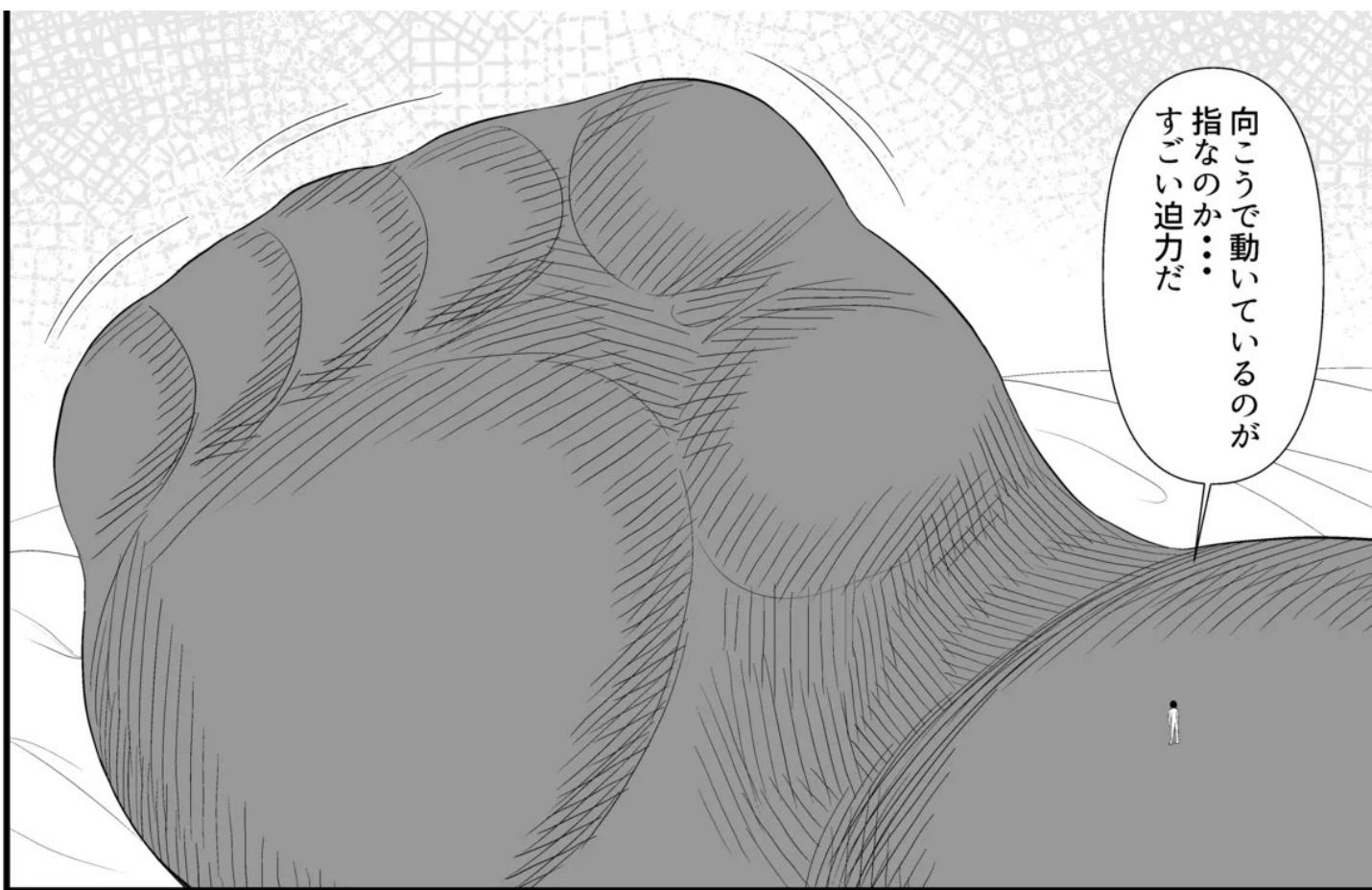


大宮さんの背は
155cmくらい
俺は今2ミリだから
俺には7002mくらいの
大きさか...









向こうで動いているのが
指なのか…
すごい迫力だ



この小説
最高

か。

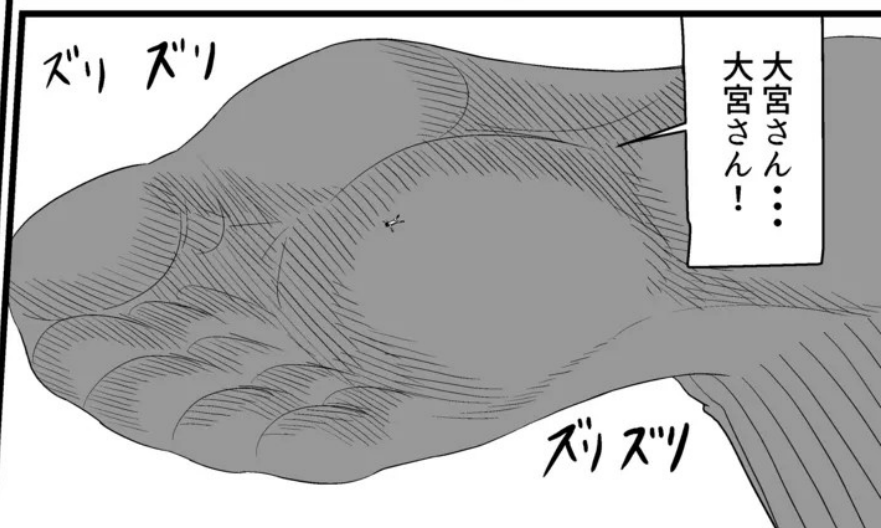


ル



射精したけど
こんなのシミにも
ならないな

ドロ…



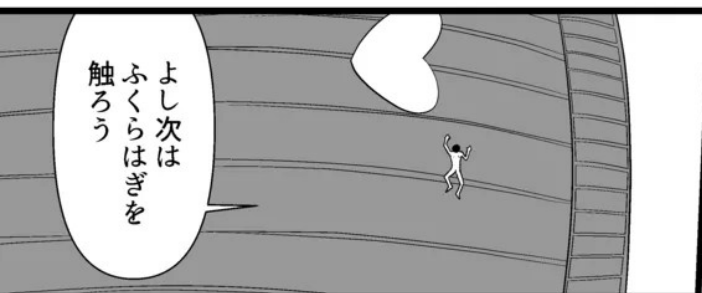
ズリ ズリ

大宮さん…
大宮さん！

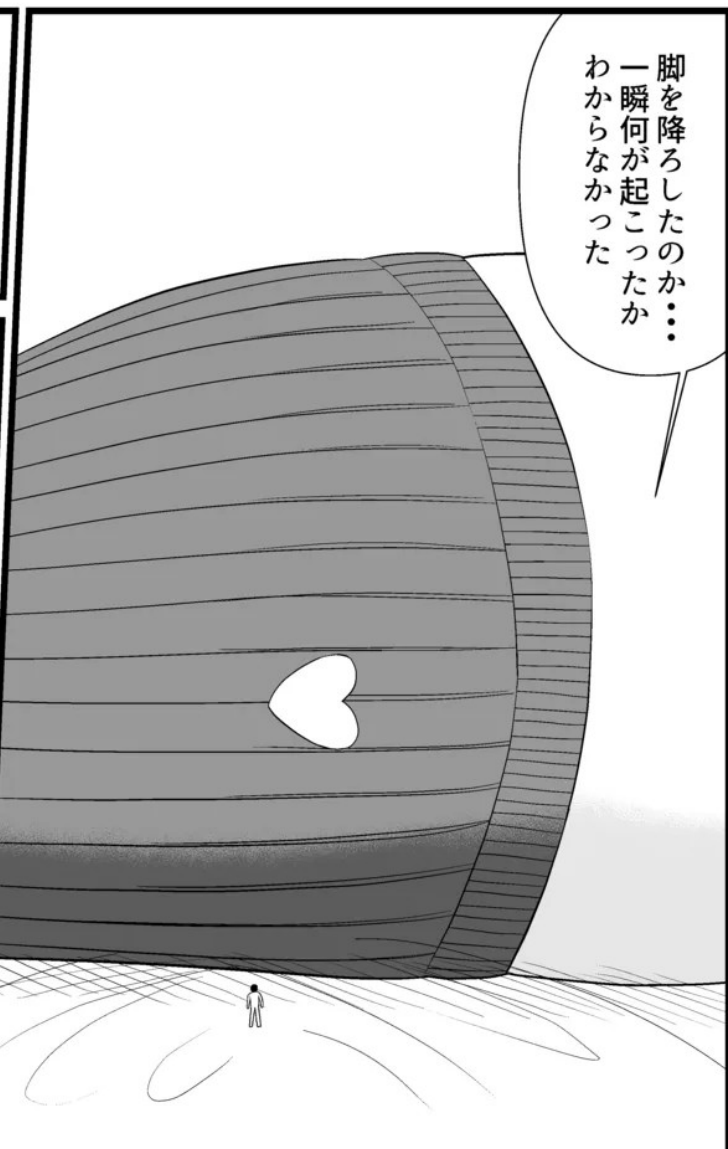
ズリズリ



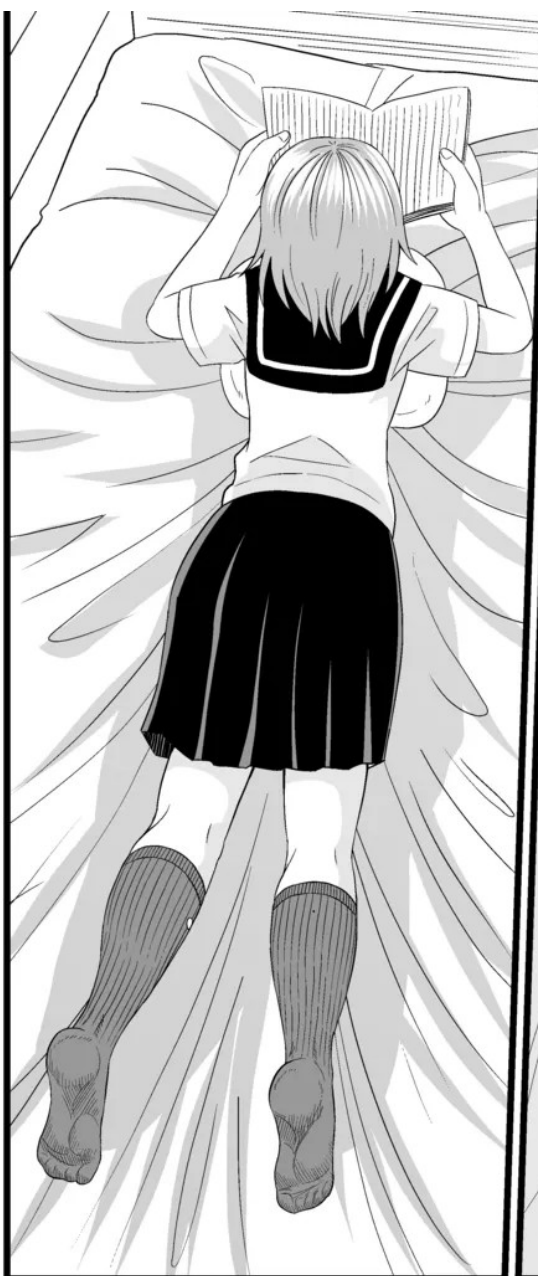
うわ!



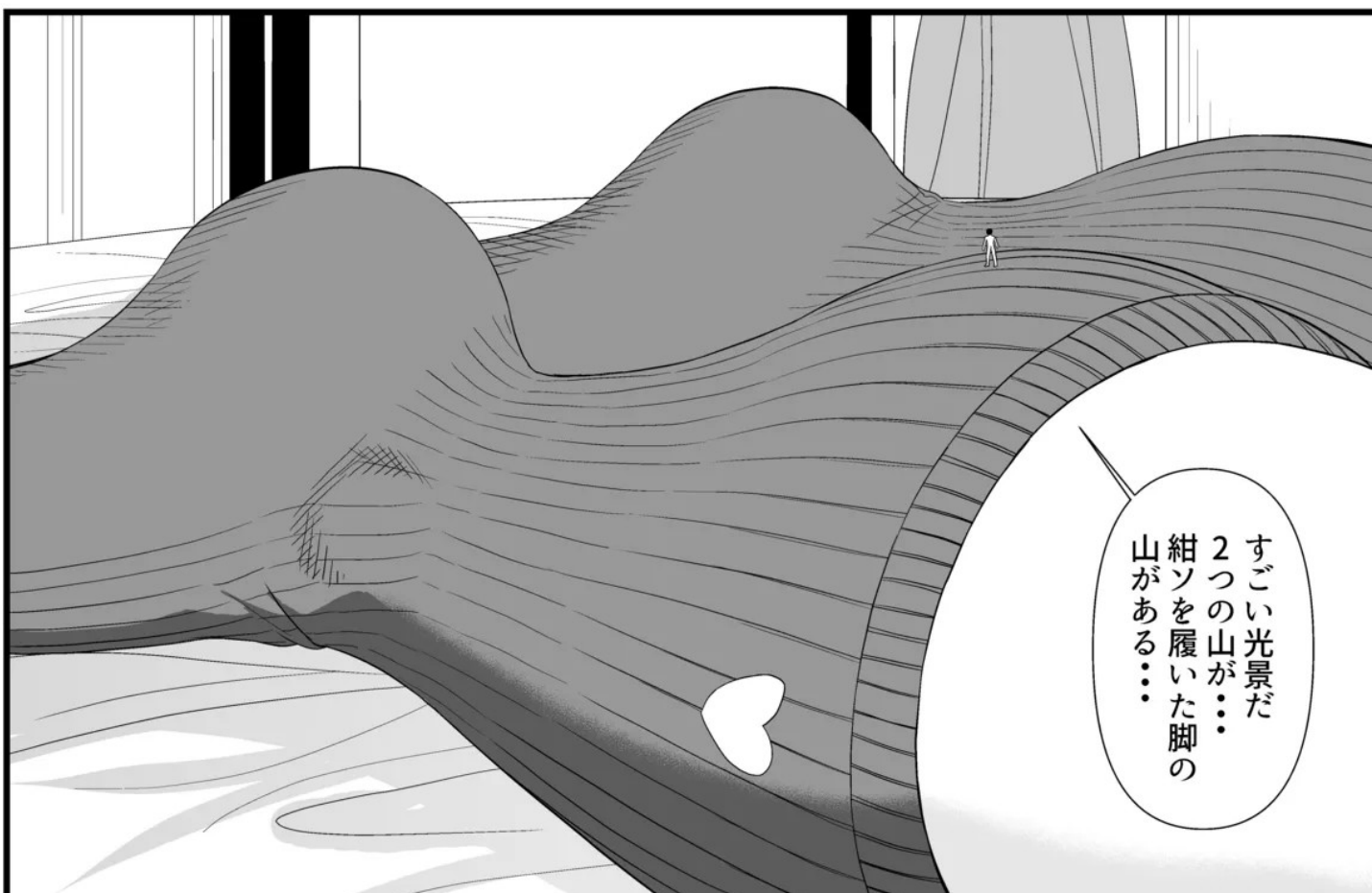
よし次は
ふくらはぎを
触ろう



脚を降ろしたのか…
一瞬何が起ったか
わからなかった



ふう登れたぞ
大宮さんの
ふくらはぎだ



すごい光景だ
2つの山が…
紺ソを履いた脚の
山がある…



身長ミリの俺には
大宮さんは700倍の
大きななんだ

もはや彼女は大きすぎて
俺なんか塵みたいな
存在だ

彼女がその気になれば
俺なんか簡単に
殺されてしまうんだ



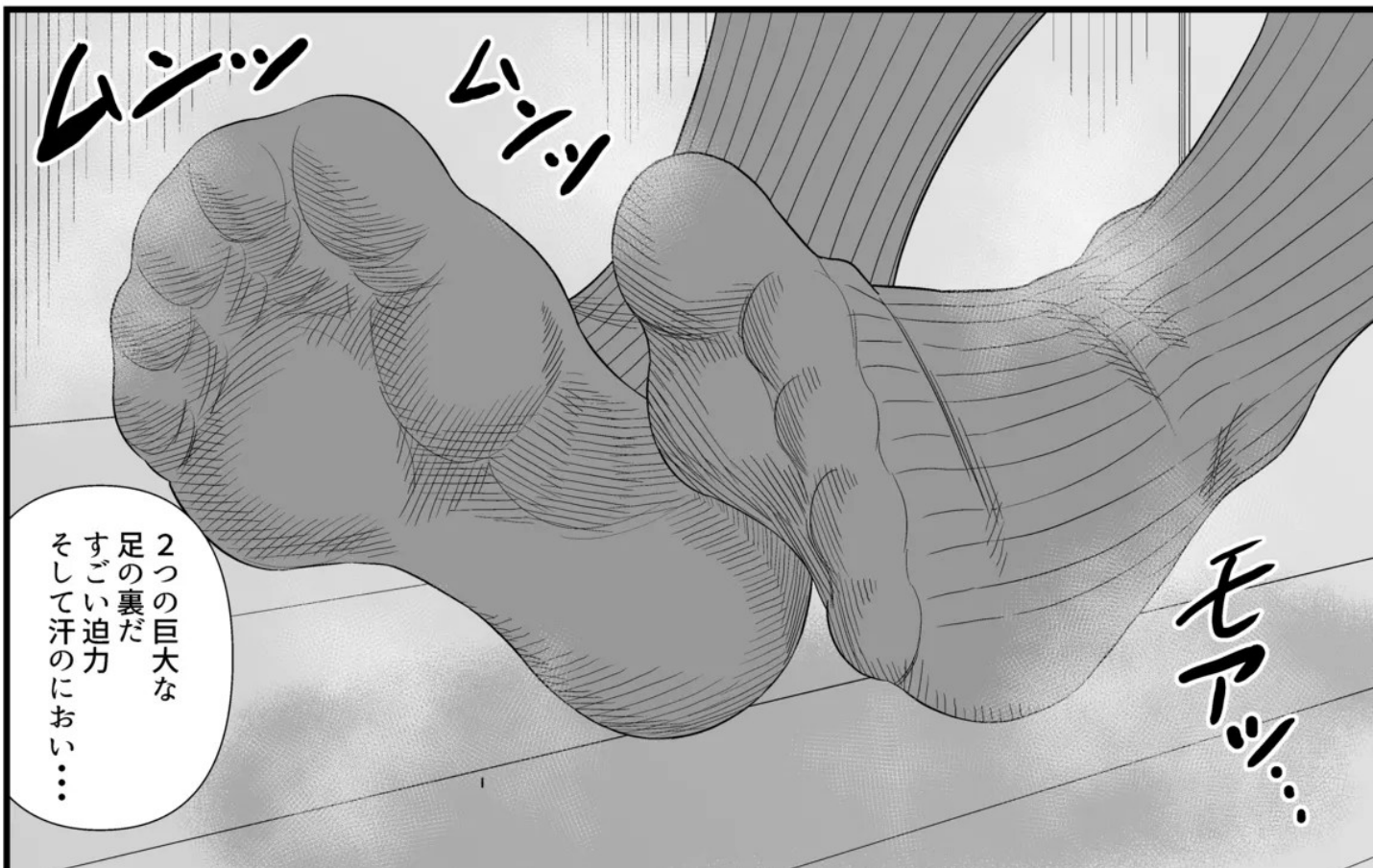
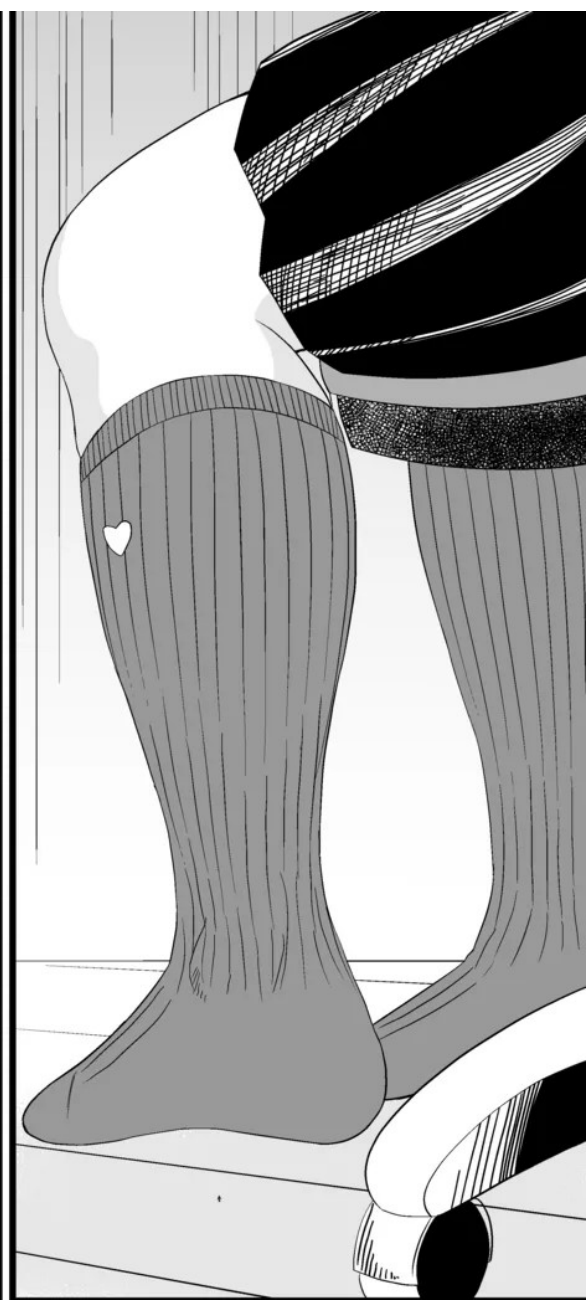
面白かった
さて宿題しなくちゃ

パ
タ
ン

椅子に座った
次は足の裏を
触ろう



大宮さんがだいたんに
股を開いてる…
いや座ってるから
そう見えるだけか



2つの巨大な
足の裏だ
すごい迫力
そして汗のにおい…

モアッ…

大宮さん
勝手に部屋に入って
ごめん それに
変態なことして
ごめん

そして
ありがとうございます
大宮さんの足
最高だよ





喉かわいたなあ
お茶飲もうつと

グググ



満足した
バレないうちに
そろそろ引き上げよう

大宮さん本当に
ごめんね

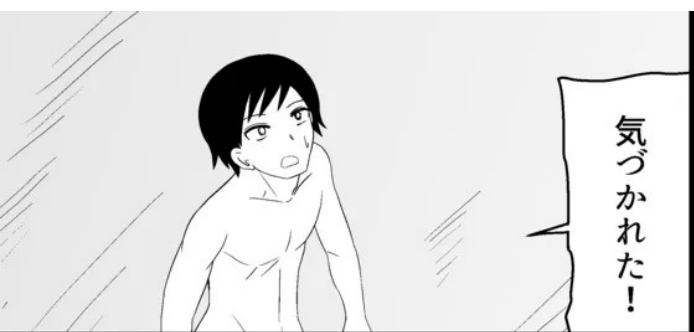


ん？



まずい
こっちに来る！

カタン



気づかれた!



なんか...いる?
何これ虫?









ゴォォ

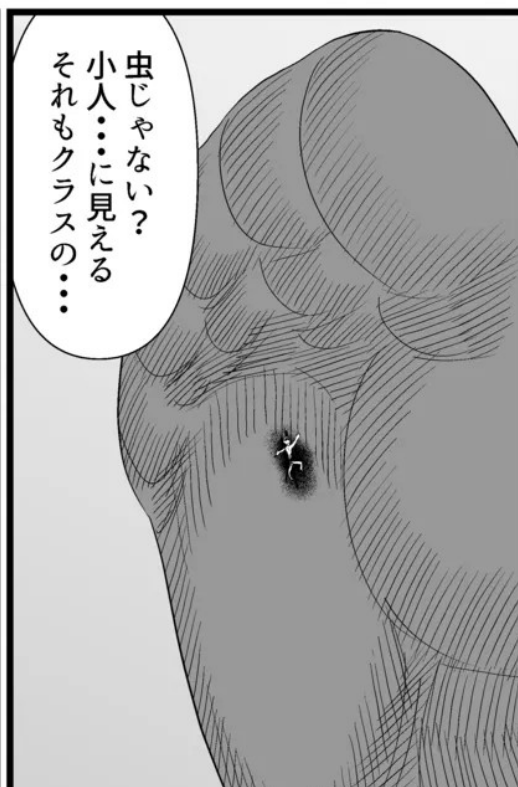
大宮さん!

オォッ

グッンナッ!!

つぶれちゃえ
この害虫め!!

ブチブチッ





大宮さん？

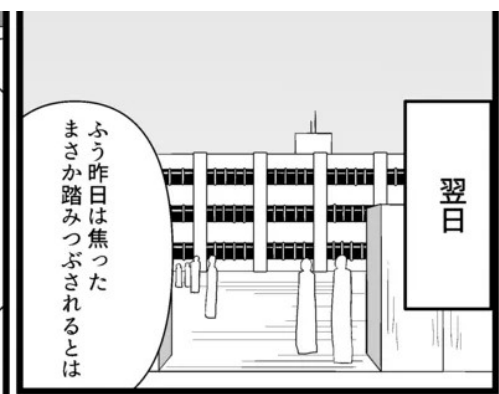
あ…えつとね

ごめん変なこと
聞くけど



あっ 竹田くん？

次はちゃんと
しなきゃな



翌日

ふう昨日は焦った
まさか踏みつぶされるとは



それにすっかり
ダニになりきって
生き返りの魔法を
忘れてたよ
本当に死ぬかと
思った



あっごめん！
昨日変な夢
見ちゃって

小人の竹田くんが
私の部屋にいてね

それから…
踏みつぶしちゃった



竹田くんって
小人になれるの？

えっ!?



変な話して
ごめん！
夢の中とはいえ
踏んじやつたし

え いや えつと



あとかき アホ寺僧侶よりひとこと・・・

久しぶりの学園編でした。今作は竹田くんが竿役で登場しましたが、これまでのシリーズとは違う時間軸となります。竹田は踏まれるのが今回が初めてなのであれだけ慌てていました。九重ちゃんに魔法を貰ってわりとすぐの話ということになります。最近は小人が踏みつぶされるのを嫌がっている方がいいと思っているので、今回は竹田を主役にこれまでと違うテイストで描きました。新しくこのシリーズを読む人でもわかるように今回は完全に読み切りという形で展開しました。

さて大宮さんですが、クラスでは目立たない存在で、身長も155cmと小柄で華奢。長めの紺ソを履いていて大人しい女の子。竹田は身長170cm。普段は自分よりも背の低い女の子に踏まれるのいいですね。本が大好きでいつも本を読んでいます。虫が嫌いでゴキブリなんて出たら部屋から飛び出していきます。しかし今回は竹田は2mmになっていたのも大宮さんも得意になって踏んづけていました。小学生のころに虫を踏んで遊んでいたことを思い出した大宮さん。久しぶりに虫を踏み殺すこと、そして小さい命が自分の足の下で終わっていく感覚にちょっとSな心が芽生えていたずらっぽく罵りながら竹田を踏みつぶしてしまいました。普段は大人しいのですが自分よりも圧倒的に弱いちっぽけな存在を前にして嗜虐心が生まれた大宮さん。今後は竹田をより残酷に踏みつぶす回を考えています。では今後もこの学園シリーズをお楽しみください。

